

愛知県動物愛護推進協議会平成29年度第2回会議議事録

- 1 日 時：平成30年1月30日（火） 午後1時30分から午後3時まで
- 2 場 所：愛知県自治センター 大会議室
- 3 出席者：（委員）齋藤委員（副会長）、石川委員、大羽委員、狩野委員、清水委員、鶴田委員、牧野委員、柵木委員（代理出席 山田主任指導主事）、山本委員、脇田委員
（事務局）生活衛生課 増野課長、高柳主幹、森課長補佐、岡主任主査、富田主任
動物保護管理センター 牧野業務課長、西川技師

4 概要

(1) あいさつ

【生活衛生課 増野課長】

委員の皆様方には、お忙しいところ、また寒さが厳しい中、愛知県動物愛護推進協議会平成29年度第2回会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日ごろから、本県におきます動物の愛護と適正な管理の推進に、御尽力をいただいておりますことを、重ねてお礼申し上げます。

さて、本日は、議題として、学校等における動物愛護の啓発をあげております。

学校教育と連携して実施する動物愛護の啓発について、皆様方の御意見をいただきたいと思っております。

また、平成29年度の推進計画の進捗状況につきまして、中間結果として、御説明いたします。

本日は、委員の皆様方の御経験、御見識に基づき、専門的な視点から、御発言をいただければと思っております。

今後とも動物愛護施策の推進に関しまして、一層の御指導・御支援を賜りますよう、重ねてお願いしまして、開催にあたってのあいさつとさせていただきます。

(2) 議題

ア 愛知県動物愛護管理推進計画の平成29年度の進捗状況について

事務局 岡主任主査 資料3により、平成29年度の進捗状況を説明。

イ 学校等における動物愛護の啓発について

事務局 岡主任主査 資料4により、愛知県動物愛護管理推進計画における動物愛護思想の普及啓発について説明し、各委員の所属団体における動物愛護啓発の実施状況に関する事前アンケート調査結果について説明。

動物保護管理センター 西川技師 資料5により、中学校で実施した「いのちの教室」について説明。

教育委員会 山田主任指導主事 資料6により、学校における動物に関連した学習内容について説明。

【大羽委員】

学校の飼育動物の問題点について、何十年も前から指摘されており、学校で飼育する動物の管理、指導を徹底をしていく必要があると感じているが、どうなっているのか。

【山田主任指導主事】

学校で動物を飼うことについては、様々なことを考慮しなければならない。動物を飼育している学校の近所から、におい・鳴き声等の苦情が実際にある。専門家を交えた校内研修を実施していく中で、適切な飼育の方法を学ぶことも考えていかなければならない。道徳の授業等においても生命の尊さを学ぶ中で、動物虐待についての内容も扱っていかねばならないと考えている。

【大羽委員】

学校の飼育動物が死亡した場合の処置や餌の調達についての課題等を解決するために、予算等が必要となってくると思うが、課題の解決について教育委員会はどのように考えているのか。

【山田主任指導主事】

県内の中で学校における飼育動物の状況は確認できていないが、学校における動物の飼育の課題については、関係機関と連携して、学校教育の中で生命の尊さを教育していきながら、計画的に進めていきたいと考えている。

【清水委員】

愛知県獣医師会においてもふれあい教育、学校に協力する獣医師制度を実施している。学校で動物を飼育する事は重要であるが、飼育環境を整え、飼育を継続していくための予算（エサ・病気等の治療費）と教員の動物飼育に関する教育カリキュラムについて検討をお願いする。

【齋藤副会長】

動物園にも飼育マニュアル等はあるため、やはり学校で動物を飼育するためのマニュアル等が必要であると思う。

【牧野委員】

毎年、豊橋市内の3つの保育園を対象に猫を用いたふれあい教室を実施している。

来年度から、市が行っている出前講座において、「正しい動物の飼い方とは」という講座を開催する予定である。適正な飼い方等の啓発により、動物愛護精神を養成するため、小学校を対象とする予定である。1講座30分程度で小学校3年生以上で募集し、市内51校のうち、10校程度を目標としている。

【狩野委員】

岡崎市内の学校における飼育動物の飼い方の指導については、獣医師会に委託している。

学校飼育動物に関しては、メダカ等の魚を飼う場合についても、命の大切さを教えていく必要があると思う。

5、6年前から奈良県うだ・アニマルパークにおいて、教育委員会、動物愛護関係担当が中心になって動物愛護の啓発プログラムを作成しており、そのプログラムに基づいて動物愛護の授業がおこなわれている。愛知県もすぐに奈良県と同様のことを実施することは難しいと思うが、動物愛護団体、行政と共同で行なっていければ良いと考えている。動物愛護について、愛護部局と一緒に教員のレベルをあげていくことが大事なことである。

【石川委員】

名古屋市では、トワイライトスクールにおいて、1区一つずつということで、要望があれば「命の教室」行なっている。行政職員のみで4年程、共通したプログラムを実施している。その他、要望があった小学校、中学校を対象に動物愛護推進員の協力を得て、授業の一環として動物愛護の啓発を実施している。

動物愛護担当部局としては教育として動物愛護の啓発を行っているものではない。教育委員会としては優しい気持ちを持った子どもたちを育むこと、動物愛護担当部局としては適正飼養を普及することをそれぞれ目的として、教育委員会と連携をして動物愛護啓発の授業が展開できたら良いと考えている。

学校飼育動物に関しては、学校で動物を飼うことでしが得られないものもあるため、いろいろな課題はあるが、できるだけ学校で上手に飼育できると良いと感じた。

【鶴田委員】

豊田市では、10年以上前から動物愛護教育として、ボランティアと共働で、主にこども園、幼稚園を対象に「ふれあい教室」を実施している。小学校に対しては、学校飼育動物を適切に飼うための「飼い方教室」を実施している。

幼稚園などでも動物を飼っている場合は、動物と実際に触れ合うのではなく、紙芝居などにより「飼い方教室」を実施している。

動物を飼っていない学校等、動物と触れ合う機会が無い子供達が、動物へ無関心な大人になってしまうことに懸念があるため、全ての学校で動物愛護啓発について学ぶことができるプログラムがあれば理想的である。

【齋藤副会長】

動物園においても、教育プログラムに基づいて学校の先生とタイアップできるような動物愛護教室を実施している。学校から依頼を受けて学校へ赴き、学校で飼育した動物を使用して飼い方教室を実施している。

【大羽委員】

私達の団体では、会員が自宅で飼っている動物を連れてふれあい教室等に行くが、動物保護管理センターのように家庭で飼われていない動物をふれあい教室に連れていく場合は、動物の選定について課題があると感じている。

動物保護管理センターとして、ふれあい教室にセンターの動物を連れていくことについてどのように考えているのか。

【動物保護管理センター】

センターで実施している犬の選定は、譲渡可能かどうかについてであるが、幼稚園児達は、動物と触れ合いをしたいという意見が多いため、センターから譲渡可能な動物を連れて行き、ふれあい教室を実施しているところである。

現在、センターでは、動物を使わないふれあい啓発事業を進めていこうとしているところである。

【大羽委員】

動物を使わない動物愛護教室を実施した場合、どの程度相手に伝わっているのかわかりにくい。動物を使わずに、どのように動物愛護啓発を授業に取り入れているのか。

【動物保護管理センター】

奈良県うだ・アニマルパークでは、犬や猫のはりぼてを使って動物の福祉の基本プログラムを実施しており、はりぼてでも、実際の動物と同じように動物愛護の啓発はできている。ただし、授業における話し方、伝え方が重要であり、先生の協力は必要である。

【狩野委員】

ボランティアがいないとできない事業は、行政がおこなう事業ではないと考えている。ボランティアがいなくてもできるが、ボランティアの協力があればより良い事業になるという考えで、事業を実施している。そのため、ボランティアの負担をできるだけ少なくしている。

ふれあい教室に連れていく犬については、一定の基準をクリアした犬のみ連れていくこととしている。

3年程、幼稚園に対し、いのちの教室を実施し、昨年からは小学校を対象に実施している。

【清水委員】

昨年度のふれあい教室について、県獣医師会では、49校、52回実施した。また、獣医師の協力制度を使用して、学校飼育動物を治療した事例は28件であった。

学校で動物を飼育することは、ふれあい教室から学ぶこととは違うことが学べると感じている。小学校の低学年までは、リセットできる命はないという事を教えることが重要である。

ウ 動物愛護に関する最近の動向について

【狩野委員】

岡崎動物総合センター開設10周年記念行事として、柴田理恵さんと山路徹さんに講演

をしてもらう予定である。二人のいろいろな経験談から、動物を飼うことについて、どのような気持ちが大事なのかということ、最後まで飼い続けるということを中心に話をしてもらう予定である。

(3) その他

【齋藤副委員長】

重症血小板減少症候群（SFTS）に関して、その後の情報はあるか。

【事務局】

SFTSについて新たな情報は無いが、最近コリネバクテリウム・ウルセランスに感染した犬や猫から人が感染する事例について、厚生労働省から報告があった。